

☆探鳥会 ここが見どころ聞きどころ☆

雲仙アザミ谷探鳥会

山口雅生

【日 時】 5月9日(日) 9:30~12:00

【集合場所】 仁田峠駐車場(トイレ向かい側の石段)

【リーダー】 山口雅生 携帯 090-9584-7830(日曜日以外は夕方以降にお願いします) E-mail: masayama@gem.bbiq.jp 支部事務局 E-mail: nagasaki@wbsjn.sakura.ne.jp

当面の間探鳥会は事前申込制にしております。

参加希望の方は、上記リーダーもしくは事務局宛に、氏名・住所・人数・連絡先を、電話かメールでお知らせください。

昨年は新型コロナウイルス対策のため中止でした。久しぶりに鳥を見に出かけるという方も多いかと思えます。多くの方が来られることを期待していますが、間隔を2m空けないといけませんので、あまり多いと列が長くなり過ぎたりして。(笑)

一昨年は5月19日の開催でミヤマキリシマが満開でしたが、小雨模様だったため駐車場は空いていました。今回は10日早くしたので、まだ満開ではないでしょうから、駐車場が満車になる心配はありません。集合場所はトイレの向かい側の石段のところです。

駐車場周辺はウグイス、ホオジロの囀る姿が見られます。ここのウグイスは木の上で鳴くことがあるので、ふだんは藪の中に入れてなかなか見られないウグイスも、喉を膨らませて囀る姿をゆっくり楽しめます。もちろんホオジロも木のてっぺんで鳴いています。早咲きのミヤマキリシマの花も目を楽しませてくれるでしょう。

展望所では、眼下に深江、布津町の広大な畑や有明海、天草を一望にできます。火砕流の跡も今ではすっかり緑に覆われ、30年間の時の長さを実感することでしょう。

林道に入ると、一変して薄暗くひんやりした空気に包まれます。すぐにソウシチョウの土鈴のような丸っこい囀りが聞こえてきます。この鳥は沢山で鳴いているとうるさく感じることもありますが、一羽の囀りをよく聞くとクロツグミのような美しい声です。下の方からはオオルリのゆったりした伸びやかな声が聞こえてくるでしょう。

アザミ谷までの道中は、ヤマガラやシジュウカラが見られ、時にはミソサザイが現れることがあります。噴火以前のこの道は、キビタキが非常に多かったところですが、噴火後は少なくなっていました。近年、全国的にはキビタキが増加しているそうです。確かに増えているような気がします。もしかしたら、雲仙でも増えているかも知れません。昔のように木々の間を飛び回っている姿が見られたらいいですね。



(写真:ソウシチョウ)

季節の花にも目を向けてみましょう。下界では見ることがない植物がたくさんあります。私も以前は多少は知っていたのですが、最近は何のせいかわからなくなりました。植物に詳しい方が来てくれれば楽しい話が聞けて嬉しいです。お待ちしております。

アザミ谷に着いたら水場に来る小鳥に期待しましょう。ソウシチョウはひっきりなしに来ますし、カラ類、ウグイスなどが見られます。夏鳥のクロツグミ、オオルリ、キビタキも来ますが、今年はどうでしょうか。足環を付けたソウシチョウ

噴火後も戻ってこなかったのがメジロです。以前はたくさんいました。30年ほど前にバードソンのスタートのため仁田峠に泊まり、日の出とともにアザミ谷に向かいました。その時にはメジロの囀りが頭上からシャワーのように降ってきていましたが、ここ10年間の探鳥会で確認されたのは1回しかありません。メジロは以前は山で繁殖し平地ではほとんど繁殖していませんでしたが、最近は何で平地での繁殖も増えてきています。もしかしたら、高い山には少なくなっているのでしょうか？



(写真:クロツグミ 梅野繁)

ウがいれば、島原での標識調査でつけられたと思いますが、いまだにここで見たことはありません。今年こそ見つけたいものです。

5月とはいえ雲仙はまだ寒い場合が多いので、重ね着ができる服装でお越しください。新型コロナウイルス対策のためのマスクもお忘れなく。